

なぜなに やまもり

山や森についてもっと知ろう!

スギの中の選ばれた品種「特定母樹」とはどんなもの?

スギの特定母樹とは、成長性や材の強度、そして花粉量(少ない)などで特に優れた特性をもつ樹木を、農林水産大臣が指定したものです。

我が国では、平成25年に改正された「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」に基づき、成長が早く、CO₂吸収能力が高い「特定母樹」の普及を図ることを目指しています。

また、山形県では令和2年以降、令和32年までに温室効果ガス排出ゼロを目指し、「ゼロカーボンやまがた2050」の目標を掲げて様々な施策を展開していますが、この「特定母樹の増産」はその対策の一つとなっています。

特定母樹が生まれるまで

① 第1世代精英樹等の選抜

昭和30年代から試験研究を重ね、従来種の中で、特に成長の早いものが第1世代精英樹として選抜されました。



② 精英樹からエリートツリーへ

優れた第1世代精英樹どうしを交配して、特に成長が早く材質に優れ、さらに幹の通直性が高く、伐採後に得られる木材の剛性が高いものが、エリートツリー(第2世代精英樹)として選抜されました。



③ エリートツリーから「特定母樹」へ

エリートツリーの中で、特に成長が早く、材積が従来種と比較して1.5倍以上あり、かつ材質が優れており、さらに花粉量が通常の半分以下であるものが農林水産大臣の指定を受けて「特定母樹」となります。



④ 山形県の取り組み

山形県では、令和5年度秋に初めて「特定母樹」の種子が採取されました。そして令和6年度には特定母樹の閉鎖型採種園が完成し、令和7年度からその苗木が流通しています。



※山形県ではCO₂の削減等をめざして「特定母樹」の増産体制をさらに整備していきます。

企業だって 森づくり♪

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社山形支店 あいおいニッセイ同和損保の森 編

Q あいおいニッセイ同和損害保険株式会社山形支店さんはどんな企業ですか?



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社山形支店 支店長 吉尾 賢一さん

自動車保険・火災保険、企業向けの各種損害保険など、個人や法人向けの商品を、主に山形県内のお客様に県内の代理店を通じて販売や、ご契約いただいた各種保険の事故対応・保険金支払いなどの業務を行っております。また、当社は行動指針に掲げる「地域密着」を具現化する取り組みとして、2016年から地方創生プロジェクトに取り組んでいます。

Q 森づくり活動を始めたきっかけは何でしょうか?

以前から当社グループの取り組みとして「グリーンアースプロジェクト」を行っており、「環境・気候変

動対応の総合的な取り組み」として、ペーパーレスなどの地球温暖化対策(脱炭素)や自然・生態系の保全活動を行っております。その中で2017年に締結した「山形県とのやまがた創生に関する連携協定」に基づいた活動として、やまがた絆の森協定を締結し、森づくり活動を開始しました。



今からみんなで作業を行います!

Q 「あいおいニッセイ同和損保の森」ではどんな活動をされていますか?

年1回、西川町にある「あいおいニッセイ同和損保の森」で下刈りなどの森づくり活動を行っております。山形県内の社員や代理店の方々、地域の方々に参加していただき、今年度は30人程度で活動を行いました。

Q 活動の喜びや魅力、苦労はありますか?

近年の猛暑により、活動時期や時間について頭を悩ませておりますが、山形の豊かな自然に触れあいながら汗を流すことは大変清々しいです。また、代理店の方々との交流や社内とは違った形で社員と交流することが出来る場にもなることから、大変貴重な時間であると感じています。



社員のお子さんと一緒に活動しました!

Q 参加者からの感想はいかがでしたでしょうか?

「こんな大きな鎌を使うのは初めてでびっくりしたが、作業をしてみると楽しかった」や「作業は暑くて大変でしたが、いつのまにか夢中に

Q 今後の課題や目標はありますか?

まずは、植樹した木をしっかり手入れして、大きく育てていきたいです。また、追加の植樹も行いたいと思っています。そして、森づくり活動の輪を社員のみなならず、その家族や子どもまで今以上に広げていき、この森の成長を通じて社員やその家族との絆も深めていくと共に、これまで以上に地域に貢献し、地域との絆を深めさらなる地域密着を目指して取り組んでいきたいです!



最後に全員で集合写真を撮影しました!